National

カラー玄関番3：3型 親機

設置工事

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書・設定マニュアルと施工説明書をお渡しください。
●保証書に必ず必要事項を記入してください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品	WQC4440W
●取付用なべタッピンネジ(4×20)	2本
●位置決めゲージ	1枚
●お客様ご相談窓口一覧表	1枚
●取扱説明書	1冊
●保証書	1枚
●設定マニュアル	1冊
●施工説明書(本紙)	1枚

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠警告

必ず電源(AC100V)を切った状態で施工する。
活線工事は感電や故障の原因となります。 (必ず守る)

水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しない。
感電の原因となります。 (禁止)

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。 (必ず守る)

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。 (禁止)

絶対に分解したり、修理・改造しない。
感電の原因となります。 (分解禁止)

施工上のご注意

●子器はカラー玄関番用カメラ付ドアホン子器(WQC品番)、カラー玄関番用ドアホン子器(WQC品番)またはカラーカメラ子器(センサー内蔵タイプ・センサー別置タイプ)(WQC品番)を使用してください。ほかのカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器は接続できません。(WQS品番、WQR品番、EJ品番は使用できません。)

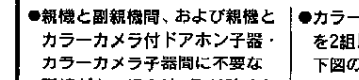
●親機(WQC4440W)は副親機にはWQC4460W、通話副親機にはWQC4470Wを組み合わせて使用してください。
●親機・副親機は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
●近くに高出力の無線局などがあると映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
●親機・副親機の近くに強い磁気を発生するものがあると映像や音声が乱れる場合がありますので、注意してください。
●親機・副親機とカラーカメラ付ドアホン子器・カラーカメラ子器間の配線を電灯線、電話回線などと平行配線する場合は、50cm以上離してください。音声に雑音が入ったり、映像が乱れる場合があります。
●液晶の破損の原因となりますので、落としたり強い衝撃を与えないでください。
●ドアホンアダプターを接続して使用している場合、雷発生時に電話回線に誘導電圧が発生して親機が故障する場合があります。
雷サージアブソーバ(補修品番：WQT615MS4600)などのご使用をおすすめします。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

次のような場所には設置しないでください。 誤動作や故障の原因となります。

●同一室内での設置
●ドア開放時に室内機同士が見通せる位置の設置
●室内機を背中合わせに設置

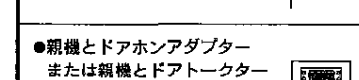
室内機間で音が回り込む位置
●ハウリング(ピー音がして通話ができなくなる)の原因となります。

極端に寒い場所・暑い場所
(冷・暖房の近くや、直射日光の当たる場所)



水や雨がかかる場所(屋外など)
●感電の原因となります。

テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く
(2m以上離してください。)
●映像や音声が乱れる場合があります。

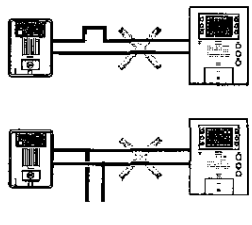


直接湯気のかかる場所
湿気の多い場所(浴室など)
ゴミやホコリの多い場所

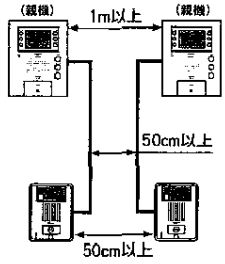
硫化水素の発生する場所(温泉地など)
●寿命が短くなることがあります。

配線上のご注意

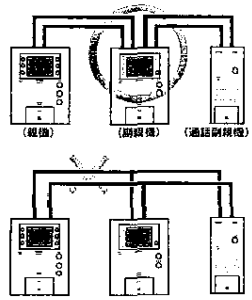
●親機と副親機間、および親機とカラーカメラ付ドアホン子器・カラーカメラ子器間に不要な配線がある場合は、取り除くか新たに配線をしてください。また配線をばらしたり、分岐しないでください。映像や音声が乱れる場合があります。



●カラー玄関番3：3型のセットを2組以上使用する場合は下図のように設置してください。50cm以上離さないと、映像や音声が乱れる場合があります。



●親機と副親機間および副親機と通話副親機間は、必ず一筆書き配線で結線してください。分岐配線すると、映像が乱れる場合があります。



●親機とドアホンアダプターまたは親機とドアトークターミナルは1m以上離して設置してください。
1m以上離さないと、映像や音声が乱れる場合があります。

■接続機器と接続可能台数

親機(WQC4440W)	1台
副親機(WQC4460W) 通話副親機(WQC4470W)	合計で2台まで接続可能
カラーカメラ付ドアホン子器(露出型)(WQC800AK) ドアホン子器(WQC500A) カラーカメラ子器(センサー内蔵タイプ)(WQC835A-F) カラーカメラ子器(センサー別置タイプ)(WQC834A-F-W)	合計で3台まで接続可能 (カラーカメラ子器は2台まで接続可能) 埋込型およびFFシリーズのカラーカメラ付ドアホン子器も使用できます。

■配線可能距離

配線区間 ＼ 使用電線	φ0.65mm	φ0.9mm
親機～カラーカメラ付ドアホン子器、～ドアホン子器、～カラーカメラ子器	100m	
親機～最終端の副親機または通話副親機	100m	
親機・副親機～増設スピーカー	50m	
親機～コール押釦	100m	
親機～ドアホンアダプター	※ 90m	
親機～ドアトークターミナル	100m	

●子器への配線などが より線 の場合は 単線 に変換して接続してください。
接続方法は圧着または、はんだ付処理を行ってください。右記、注意文章参照
●※ループ抵抗：最大10Ωまで

生産終了品
この商品は生産終了につき製造することができません

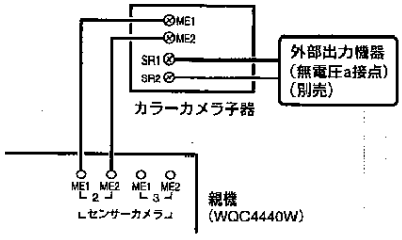
生産終了品
この商品は生産終了につき製造することができません

録画・録音機能付）WQC4440W　施工説明書

配線方法

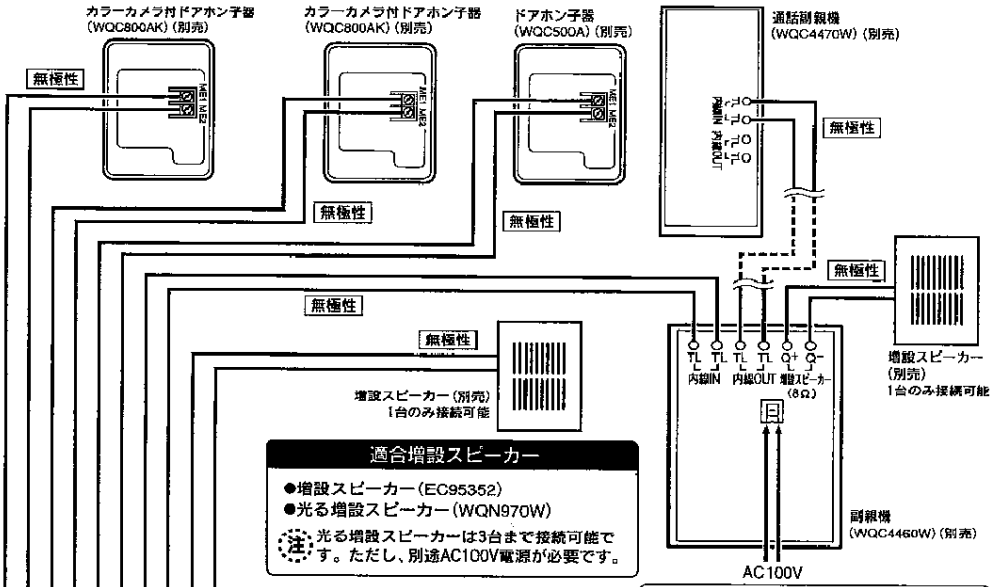
●接続する商品は別途お買い求めください。
●○端子は速結端子、⊘端子はネジ端子を示します。

カラーカメラ子器(センサー内蔵タイプまたはセンサー別置タイプ)も接続できます。



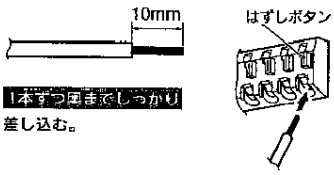
注 センサー接続や機能設定についてはカラーカメラ子器の説明書を参照ください。

注 ●配線には必ず平行ケーブルを使用してください。(同軸ケーブルは使用できません。)
●カメラドアホン1端子には、カラーカメラ付ドアホン子器を接続されることをおすすめします。
モニターボタンを押したときカメラドアホン1から動作するため、映像確認がすぐにできます。
カメラドアホン1端子には、カラーカメラ子器(センサー内蔵タイプまたはセンサー別置タイプ)は接続できません。



小勢力配線(速結端子)

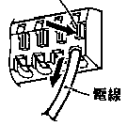
❶ 電線の被ふくを 10mm むく。



❷ 1本ずつ奥までしっかり差し込む。

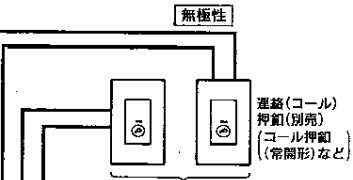
⚠警告
小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。 禁止

■電線のはずし方
⊖ドライバーでしっかりはずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。



適合増設スピーカー

●増設スピーカー(EC95352)
●光る増設スピーカー(WQN970W)
注 光る増設スピーカーは3台まで接続可能です。ただし、別途AC100V電源が必要です。



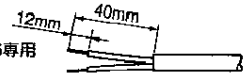
注 ●親機・副親機側で呼出音の停止はできません。
●コール表示と呼出音は2分間で自動停止します。

ON保持型(表示灯付)の押釦を使用する場合

●配線は有極性となります。
(N1端子は押釦のリード線アカ色、N2端子は押釦のリード線シロ色に接続します。)
●2コ以上の押釦を同時に押すと、押釦の表示灯が暗くなります。

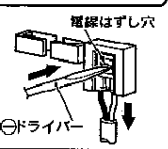
AC100V配線

❶ 絶縁板をはずす。
(はずし方は裏面の「絶縁板について」を参照)
❷ 電線の被ふくを 12mm むく。
❸ 1本ずつ奥までしっかり差し込む。

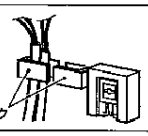


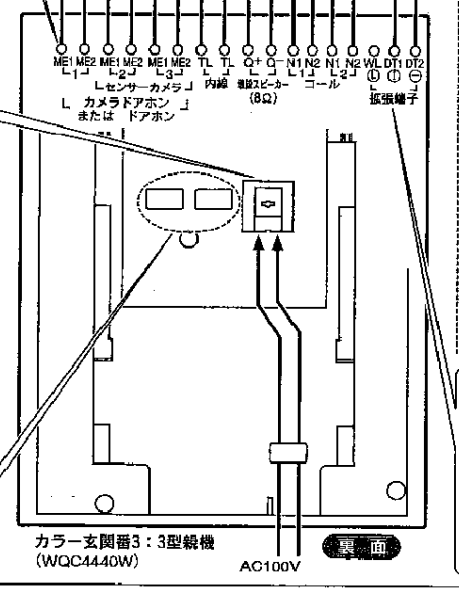
⚠警告
AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。 必ず守る

■電線のはずし方
⊖ドライバーで電線はずし穴を押さえながら、電線を引き抜く。

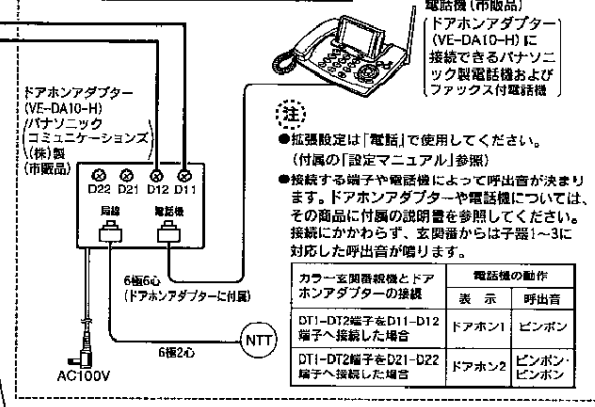


電線が取付金具で傷つけられるのを防ぐため、各接続機器への配線は、結線後、1本ずつ順序良くフックに引っ掛けてください。





ドアホンアダプターを接続する場合

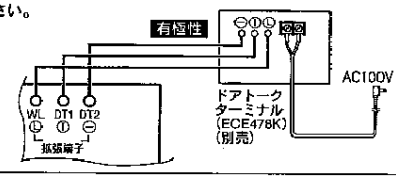


注 ●拡張設定は「電話」で使用してください。
(付属の「設定マニュアル」参照)
●接続する端子や電話機によって呼出音が決まります。ドアホンアダプターや電話機については、その商品に付属の説明書を参照してください。
接続にかかわらず、玄関番からは子器1～3に対応した呼出音が鳴ります。

カラー玄関番親機とドアホンアダプターの接続	電話機の動作	
	表示	呼出音
DT1-DT2端子をD11-D12端子へ接続した場合	ドアホン1	ピンポン
DT1-DT2端子をD21-D22端子へ接続した場合	ドアホン2	ピンポン・ピンポン

ドアトークターミナルを接続する場合

注 ●拡張設定は「コールトーク」に設定してください。(付属の「設定マニュアル」参照)
●ドアホンアダプターとドアトークターミナルの両方を接続することはできません。
●接続後、トーク親機にドアトークターミナルを登録してください。
登録しないと使用できません。
●トーク親機やドアトークターミナルについては、その商品に付属の説明書を参照してください。



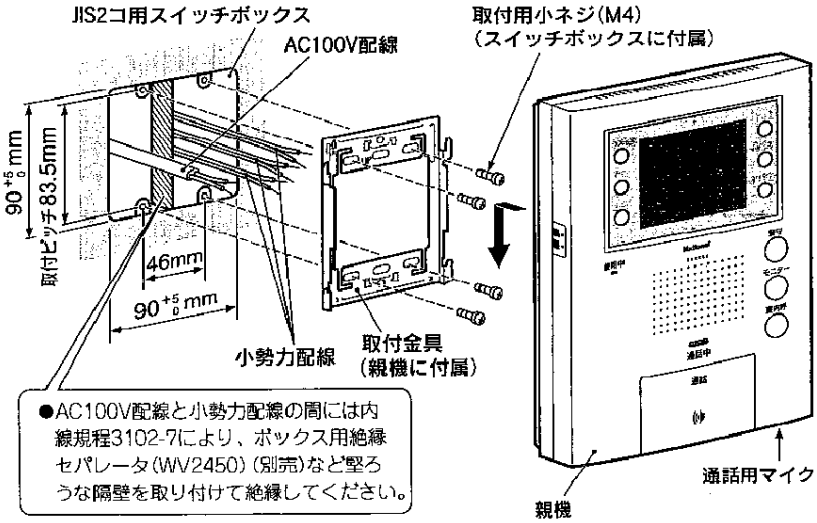
注 結線終了後、断線や接続不十分な部分がないか必ず確認してください。
特に配線の途中で電線接続する場合は、ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
(電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤作動や動作しないなどの原因となります。)

取 付 方 法

ボックス取付の場合

ご 注 意

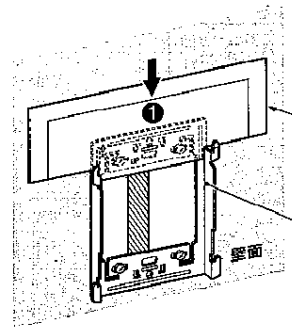
- 下側に通話用マイクがありますので、親機下面から50cm以内には反響物のない場所に取り付け、通話用マイクをふさがないようにしてください。（通話音量の低下およびハウリングのおそれがあります。）
- 取付穴の中心より親機の中心は15mmさがります。
- 商品を取りはずす際、上側にスライドさせる必要があるため、取付金具上部から50mm以内には障害物がない位置に取り付けてください。また、左側面には異常時処理スイッチがありますのでスイッチが操作できる場所に取り付けてください。
- 取付高さは床面より親機中心まで145cmをおすすめします。



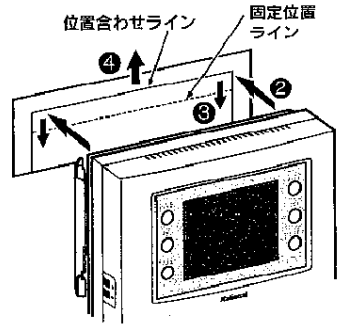
- AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程3102-7により、ボックス用絶縁セパレータ(WV2450)（別売）など堅ろうな隔壁を取り付けて絶縁してください。

位置決めゲージの使用方法

位置決めゲージは本体を取付金具に取り付けやすくするものです。
位置決めゲージを使用せずに取り付けることもできます。



❶ 結線後、取付金具に位置決めゲージを差し込む。



❷ 位置合わせラインに本体を合わせる。（1～2mm浮きます）

❸ 本体を固定位置ラインまでさげる。

❹ 本体がぐらつかず取り付いていることを確認し、位置決めゲージを引き抜く。

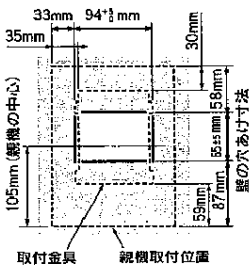
ボックスなし取付の場合

- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ほかの取付方法はボックス取付と同じです。
- 木壁取付の場合、取付金具は付属の取付用なべタッピンネジ2本で取り付けてください。

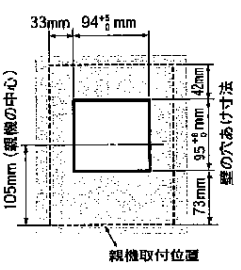
（注）石膏ボードへの取り付けは脱落を防止するため、必ずはさみ金具（別売）を使用してください。

■壁の穴あけ寸法

●取付用なべタッピンネジを使用する場合



●はさみ金具を使用する場合



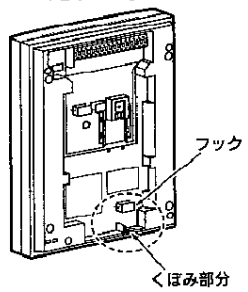
■露出配線する場合

- 取付金具は取付用なべタッピンネジ（付属）で取り付けてください。

AC100V配線：

フックで固定し、ベースのくぼみ部分から下方向に配線する。
（上方向は小勢力配線と接触するおそれがあるため）

（注）小勢力配線は露出配線できません。

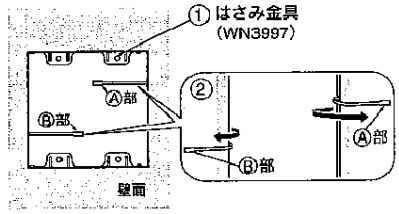


はさみ金具を使用した場合の取付金具の取付方法

（はさみ金具に石膏ボード用取付押え金具（2連用）（9～30mm壁用）（WN3997）（別売）をご使用の場合は下記の手順にしたがって施工してください。）

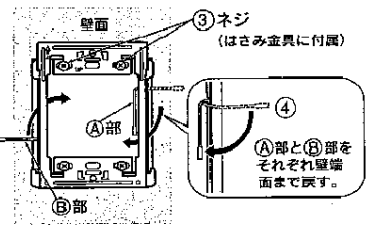
① 裏側に入れる
- はさみ金具を壁面の裏側に入れる。

② 仮固定する
- Ⓐ部とⒷ部を手で折り曲げ、壁面に仮固定する。



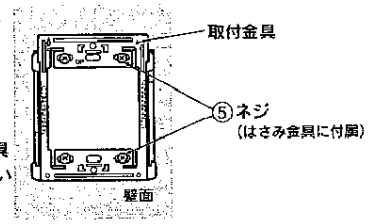
③ 仮止めする
- 取付金具とはさみ金具をネジ（はさみ金具に付属）で仮止めする。

④ 戻す
- 取付金具を左右に寄せⒶ部とⒷ部を壁端面まで戻す。



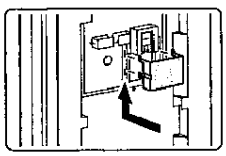
⑤ ネジで固定する
- 取付金具とはさみ金具をネジ（はさみ金具に付属）で固定する。

（注）Ⓐ部とⒷ部を取付金具と壁面にはさみ込まないようにしてください。

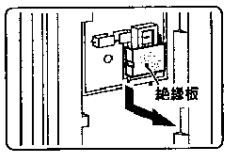


絶縁板について

取り付け方
- 結線後、ツメをミゾ（4カ所）に差し込み上へあげる。



取りはずし方
- 絶縁板を下にさげてはずす。



- ボックス取付の場合は、絶縁板は不要です。
- ボックスなし取付の場合で壁面内に充填するグラスウールなどが接触するときや、露出配線する場合は、内線規程により、絶縁板を取り付けてください。

本社〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048　TEL（06）6908-1131（大代表）　松下電工株式会社

8A2 A02 00003

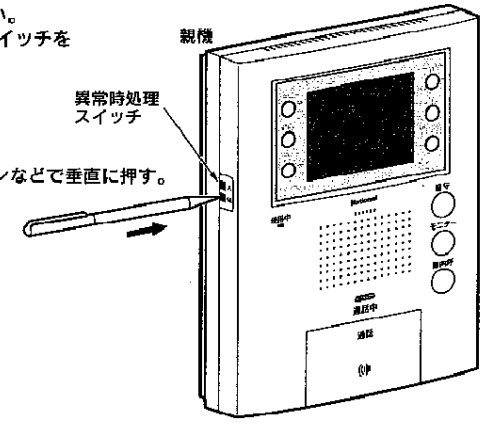
施工後の動作確認方法

施工後、設定マニュアルにしたがって施工設定が必要です。設定後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。
異常がある場合には、下記にしたがって処置してください。

注 施工後、電源を入れた後約10秒間は初期処置を行いますので、操作しないでください。

親機が異常な状態の一時処置

電源(AC100V)を切ってください。
切れない場合は、異常時処理スイッチを「切」側にしてください。
(すべての機能が停止します。)



状態	点検	処置
●全く動作しない ●時々動作しない	AC100V用電源線は正しく接続されていますか？ ●AC100Vが給電されていない場合があります。 ●速結端子に確実に接続されていない場合があります。	➡電源線を確実に接続してください。
	異常時処理スイッチは「入」側になっていますか？	➡「入」側にしてください。
●映らない ●画面が一瞬明るくなるが、すぐ消える ●勝手に振動する ●通話に雑音が入る	配線は正しく接続されていますか？ ●屋内配線と屋外配線との接続部(ジョイント部)が、接続不十分の場合があります。	➡端子は増し締めを、接続部はハンダ付処理か圧着スリーブ処理を確実に行ってください。
●映りが良くない	カメラ部の保護シートは、はずしてありますか？	➡施工後、保護シートは、はずしてください。
	設置場所は適切ですか？	➡映りは、カラーカメラ付ドアホン子器・カラーカメラ子器の設置場所の条件によって変化しますので、子器の説明書にしたがって適切な場所に設置してください。
	映像補正の設定は適切ですか？	➡映像が映し出されているときに、本体表面の映像補正ボタンを押して、調整してください。
	明るさの設定は適切ですか？	➡映像が映し出されているときに、本体下面の明るさ切替ボタンを押して、調整してください。 (カラーカメラ子器の映像を映し出している場合は、明るさ切替ボタンは使用できません。補助照明を設置してください。)
●カラーカメラ子器の映像が映らない	子器設定は正しく設定されていますか？	➡カラーカメラ子器を接続する場合は、「カメラ：あり」、「センサー：あり」に設定してください。(付属の「設定マニュアル」参照)
	センサーセットされていますか？	➡親機のセンサーボタンを押してください。
●呼出音量が小さい(または大きい)	呼出音量の設定は適切ですか？	➡映像が消えているときに、本体下面の呼出音量切替ボタンを押して、調整してください。
●子器からの呼出音が鳴らない	子器呼出設定は正しく設定されていますか？	➡通話する子器は「あり」に設定してください。(付属の「設定マニュアル」参照)
●通話がとぎれる ●相手の声が聞こえない ●自分の声が相手に伝わらない ●通話に雑音が入る	工事中の騒音などで音声がとぎれていませんか？	➡まわりの音が大きく騒がしいとき、音声がとぎれることがあります。
	配線の接続は適切ですか？	➡表面「配線上のご注意」にしたがって、配線を見直してください。 (特に既設配線を使用された場合は、必ず確認してください。)
●接続している電話機やトーク親機が使えない	拡張設定は正しく設定されていますか？.	➡ドアホンアダプター接続時は「電話」、ドアトークターミナル接続時は「コールトーク」に設定してください。(付属の「設定マニュアル」参照)
	トーク親機にドアトークターミナルを登録しましたか？	➡登録しないと使用できません。 トーク親機に付属の説明書にしたがって登録してください。

A・セキュリティ事業部　津工場〔〒514-8555〕三重県津市大字藤方1668　TEL (059) 228-1211 (代表)

National
松下電工

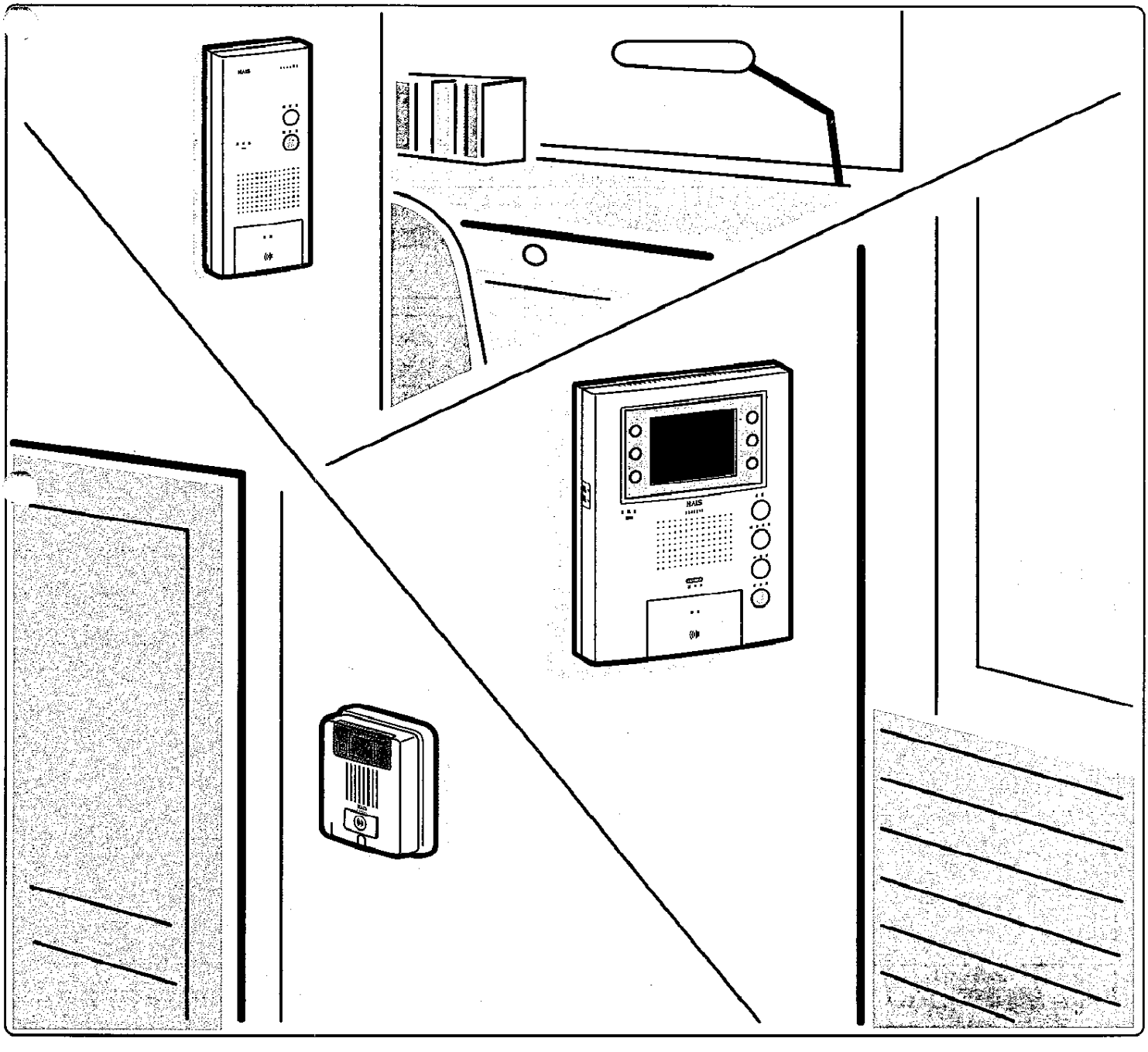
設定マニュアル

カラー玄関番3：3型

親機（録画・録音機能・電気錠釦付）
WQC444W

親機（録画・録音機能付）
WQC4440W

●正しくお使いいただくために必ずお読みください。
●設定後、必ず施主様にお渡しください。



設定項目

●メニュー画面を選択して録画・録音機能やコール名称など、お好みに合わせて設定できます。
●施工後、設定マニュアル(本紙)にしたがって正しく設定してください。

注 ●親機・副親機および通話副親機のすべての機器に電源が入っていることを確認してください。
●設定の途中に電源が切れると設定されませんので、最初からやり直してください。
一度設定すれば停電になっても設定内容は消えません。

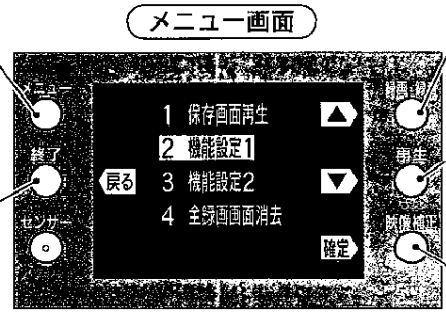
メニュー構成

1 保存画面再生		保存している画面のみを再生します。	➡取扱説明書
2 機能設定1	1 時刻設定 出荷時：未設定	現在の日付・時刻を設定します。	➡3ページ
	2 留守録メッセージ 出荷時：メッセージ1	留守設定時の応答メッセージを設定します。	➡4ページ
	3 録画画面数 出荷時：自動録画画面数：3画面 録画画面数：36画面	自動録画の録画画面数、および録画できる画面数を設定します。	➡5ページ
	4 子器機能 出荷時：自動録音：あり メッセージ音量：中	自動録音の有／無、および子器から聞こえる応答メッセージの音量を設定します。	➡6ページ
3 機能設定2	1 子器設定 出荷時：子器呼出： 子器1～3＝あり 子器設定： 子器1＝カメラあり 子器2、3＝カメラあり センサーなし	子器呼出時の応答の有無を設定します。また、接続している子器の種類を設定します。	➡7ページ
	2 機器設定 出荷時：コール設定： コール1＝コール1 コール2＝コール2 拡張設定：電話 電気錠設定1：なし	●連絡(コール)押釦が押されたときの画面に表示される名称を設定します。 ●拡張端子に接続される機器を設定します。 ●親機で玄関ドア(電気錠)の施解錠設定をするときに設定します。 (WQC444Wのみ)	➡8ページ
	3 出荷時設定	設定した内容を出荷時状態に戻します。(録画・録音データもすべて消去されます。)	➡9ページ
4 全録画画面消去		録画・録音データをすべて消去します。	➡取扱説明書

メニュー画面操作時の各ボタンのなまえとはたらき

メニューボタン
●メニュー画面にはいるときに押します。「保存画面再生、機能設定、全録画画面消去」ができます。

戻る／終了ボタン
●前の画面に戻るとき、またはメニュー画面を終了するときに押します。



▲(▶)／録画・録音ボタン
●項目選択(上の項目へ移動)する、または数値を選択するときに押します。

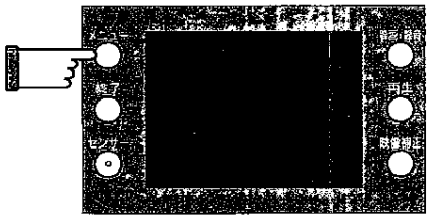
▼(◀)／再生ボタン
●項目選択(下の項目へ移動)する、または数値を選択するときに押します。

確定／映像補正ボタン
●選択した項目を確定するときに押します。

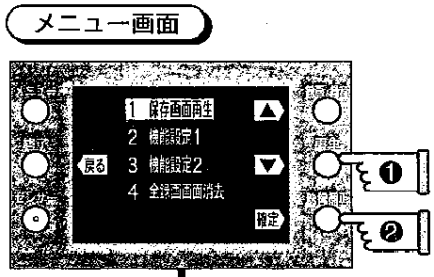
メニュー操作を開始するには

❶ 待機状態でメニューボタンを押す

(待機状態＝画面に何も表示されていない状態)



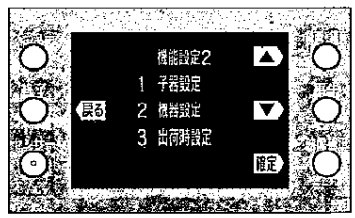
❷ 機能設定1／機能設定2を選択する



「2 機能設定1」：1回押す
「3 機能設定2」：2回押す

2 機能設定1画面を選択

3 機能設定2画面を選択



■基本操作

●設定する項目・数値を選択する
▲(▶)／録画・録音ボタン：上に移動
▼(◀)／再生ボタン：下に移動
●確定する
確定／映像補正ボタン

メニュー操作を終了するには

戻る／終了ボタンを待機状態
(画面に何も表示されない状態)に
なるまで押す

2 機能設定1　1 時刻設定

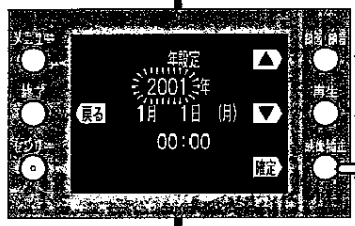
●現在の日付と時刻を設定します。

注 ご使用前に必ず「**日付・時刻**」の設定を行ってください。
時刻を設定しないと、録画・録音データ再生時、録画日時が表示されません。
（未設定時には、映像が映し出されているときに「**時刻を設定してください**」と画面下に表示されます。
ただし、ドアホン子器との通話時などは、黒画面下に表示されます。）

操作方法

機能設定1

（現在の西暦を設定する）



❶ 数字送り

❷ 確定

◎数字送りは、押し続けると数字の連続送り、または連続戻りができます。

同様に
「月」➡「日」➡「時」➡「分」を設定する
（「分」まで確定すると黄文字になり、約3秒後に機能設定1画面に戻る）

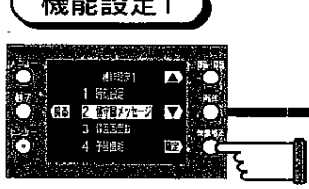
2 機能設定1　2 留守録メッセージ

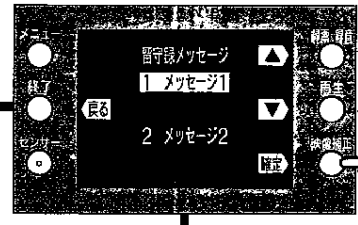
●留守設定時に子器から流れる応答メッセージを設定します。

メッセージ1	固定メッセージ（変更はできません。） 「ただいま出られません。ご用の方は、ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
メッセージ2	お客様の声で録音してください。録音時間は約8秒間です。 (注)●防犯上、明らかに留守をイメージさせるような応答メッセージは、録音しないでください。 ●まわりを静かにして録音してください。 ●子器からの応答メッセージの音量は人と親機との距離によって変わります。 録音する声が小さいと聞こえにくくなったり、大き過ぎると音がわれることがあります。

操作方法

機能設定1





❶ メッセージ1／メッセージ2を選択

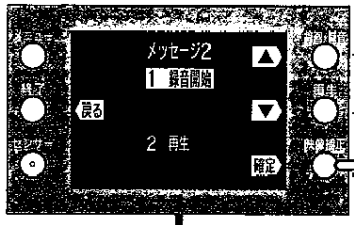
❷ 確定

1 メッセージ1を選択

●メッセージ1が再生されます。

再生終了後、
機能設定1 画面に戻る

2 メッセージ2を選択



❶ 録音開始／再生を選択

❷ 確定

●応答メッセージを録音するには 1 録音開始

●録音した応答メッセージを聞くには 2 再生

1 録音開始

●「メッセージ2録音完了しました」
メッセージが表示され メッセージ2 画面に戻る
●戻る／終了ボタンを押すと 機能設定1 画面に戻る

2 再生

再生終了後、
機能設定1 画面に戻る

2 機能設定1　3 録画画面数

●留守設定時、1回の留守録画での録画画面数を 3画面 ／ 1画面 に設定します。
（自動録画画面数）

注 ●在宅自動録画および在宅手動録画の場合は、1画面（固定）しか録画できません。
●ドアホン子器から呼出時には、黒画面を1画面のみ録画し、日時を表示します。

●録画できる画面数を 36画面 ／ 72画面 に設定します。（録画画面数）

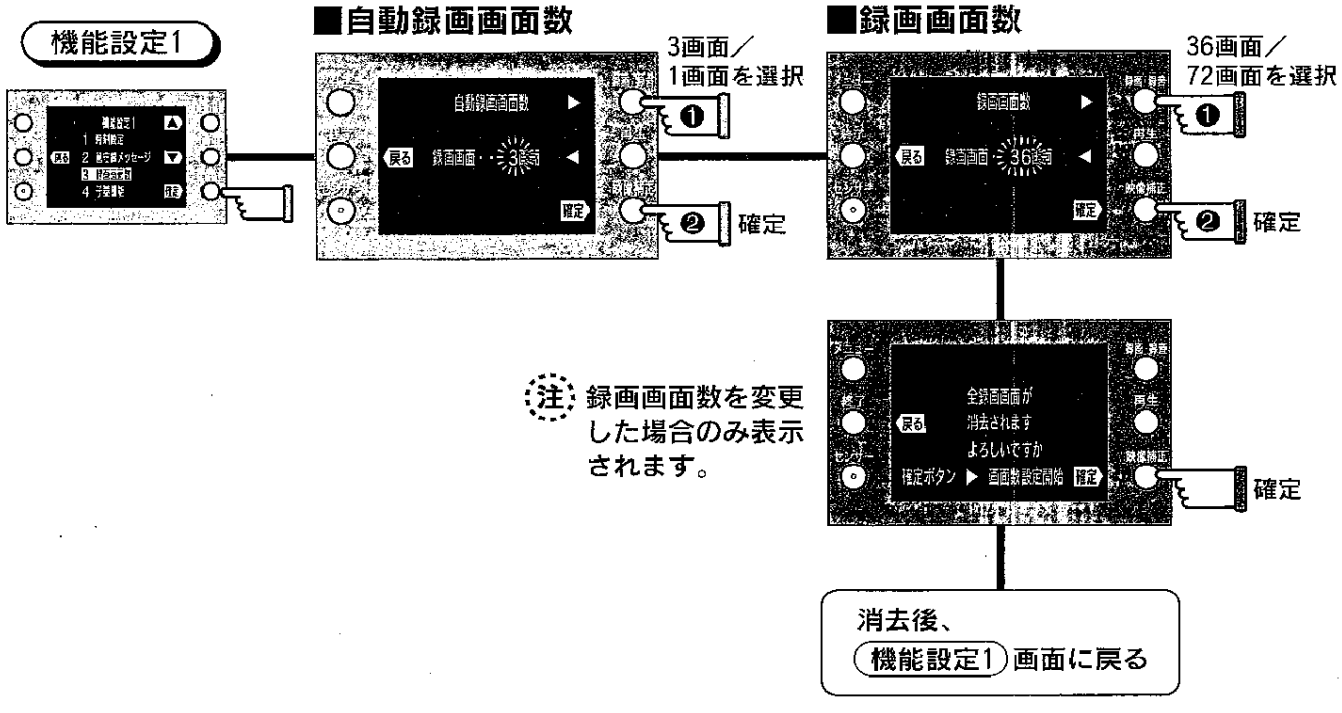
注 ●録画画面数を切り替えると、録画・録音データがすべて消去されます。
（保存画面、録音のみのデータも消去されます。）
●実際の録画できる件数は、「自動録画画面数」設定との組み合わせで決定されます。

「録画画面数」の設定	「自動録画画面数」の設定	録画できる件数	録音できる件数
36画面	3画面	12件	12件
	1画面	36件	注1 16件
72画面	3画面	24件	
	1画面	72件	

●「自動録画画面数」設定で3画面とは、1件につき3画面連続録画します。
●録画画面数は「36画面」設定の方が、高画質な録画映像となります。
● 注1 の場合、録音は16件記録できます。16件以降は録画データのみとなります。

操作方法

●すべての子器に対して設定されます。



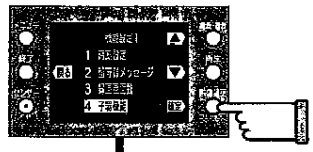
2 機能設定1　4 子器機能

●留守設定時、留守録音の [あり] / [なし] を設定します。（自動録音）
録音可能件数：16件（残りの録画・録音データは録画のみ）

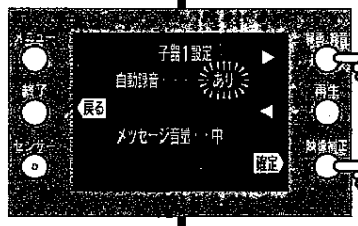
●留守録音時、子器から聞こえる応答メッセージの音量を設定します。（メッセージ音量）
[大] / [中] / [小] / [なし] を選択できます。

操作方法

機能設定1



■自動録音・メッセージ音量
●各子器についてそれぞれ設定できます。



❶ 自　動　録　音：あり／なしを選択
メッセージ音量：大／中／小／なしを選択

❷ 確定

●「自動録音」を確定してから「メッセージ音量」を設定します。
●「自動録音：なし」に設定すると、「メッセージ音量」は表示されません。
●「1 子器設定でセンサー：あり（7ページ）」に設定している場合、「メッセージ音量」は表示されません。

同様に
[子器2、子器3] を設定する

●接続していない子器、および「1 子器設定で子器呼出：なし（7ページ）」に設定している場合、子器の設定画面は表示されません。

子器3まで設定すると、
機能設定1 画面に戻る

3 機能設定2　1 子器設定

●子器からの呼出時、応答するかどうかを設定します。（子器呼出）

あり ：子器から呼ばれたときに呼出音が鳴り応答できます。

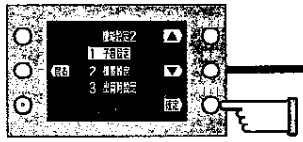
なし ：子器から呼ばれても呼出音は鳴りません。（応答できません。）

●接続している子器の種類を設定します。（子器設定）

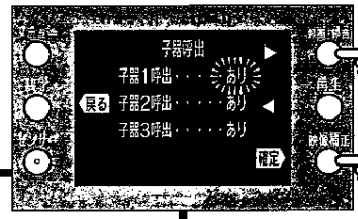
注 子器呼出設定を「なし」にしても、子器1～3の子器設定は必ず設定する必要があります。

操作方法

機能設定2



■子器呼出



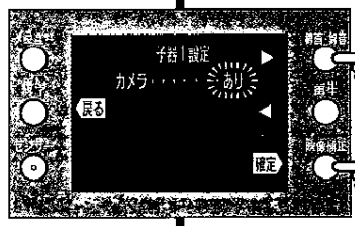
❶ あり／なしを選択

注 センサー対応カラーカメラ子器（WQC835A・F／WQC834A・F・W）を接続する場合は必ず「あり」に設定してください。

❷ 確定

■子器設定

●各子器についてそれぞれ設定します。

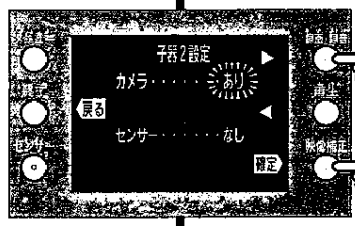


❶ カ メ ラ：あり／なしを選択

●接続している子器の品番を確認してください。

❷ 確定

カメラあり	WQC800AK WQC810A・S・B WQC821B・822B
カメラなし	WQC500A



❶ カ メ ラ：あり／なしを選択
センサー：あり／なしを選択

❷ 確定

●「カメラ」を確定してから「センサー」を設定します。
●「カメラ：なし」に設定すると、「センサー」は表示されません。
●接続している子器の品番を確認してください。

▼カメラ：あり／なしの選択

カメラあり	WQC800AK WQC810A・S・B WQC821B・822B WQC835A・F WQC834A・F・W
カメラなし	WQC500A

▼センサー：あり／なしの選択

センサーあり	WQC835A・F WQC834A・F・W
センサーなし	WQC800AK WQC810A・S・B WQC821B・822B

注 子器1には、センサー対応カラーカメラ子器は接続できません。

子器2と同様に 子器3 を設定する

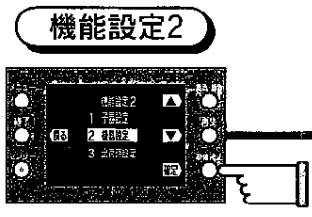
子器3まで設定すると、機能設定2 画面に戻る

3 機能設定2　2 機器設定

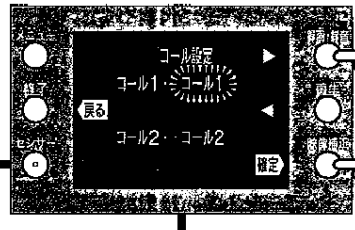
●下記の項目について設定します。（関連機器が接続されていない場合、下記機能は使用できません。接続しない場合は、出荷時設定のまま使用してください。）

コール設定	●連絡（コール）押釦が押されて、呼び出しがあったときの画面に表示される呼出元の名称を設定します。 コール1：呼出音「プップップー」　コール1、トイレ、フロ、コール、寝室、部屋、おじいちゃん、おばあちゃん コール2：呼出音「ブルブル」　コール2、トイレ、フロ、コール、寝室、部屋、おじいちゃん、おばあちゃん
拡張設定	●拡張端子に接続する機器を設定します。 電話：ドアホンアダプターを接続する場合 コールトーク：ドアトークターミナルを接続する場合
電気錠設定1 (WQC444Wのみ)	●電気錠操作器を接続して、親機から玄関ドア（電気錠）を施錠・解錠する場合に設定します。 （副親機で操作するには、副親機側の設定が必要です。副親機に付属の説明書を参照してください。） あり：親機から施解錠できます。 なし：親機から施解錠できません。（解錠ランプは消灯したままです。）
電気錠設定2	必ず「専用入力：なし（出荷時設定のまま）」で使用してください。「あり」では動作しません。

操作方法



■コール設定

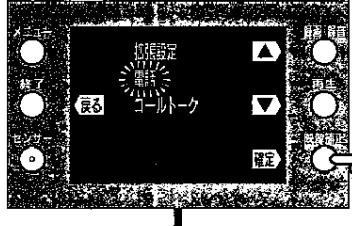


❶ 上記の内容を選択

❷ 確定

●「コール1」の名称を確定してから「コール2」の名称を設定します。

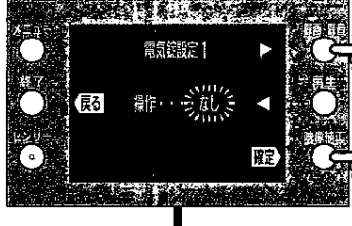
■拡張設定



❶ 電話／コールトークを選択

❷ 確定

■電気錠設定1



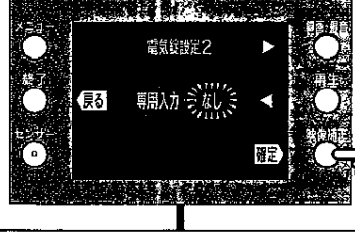
あり／なしを選択

❶

❷ 確定

注 WQC4440W使用時は変更しないでください。
必ず「操作：なし（出荷時設定のまま）」で使用してください。
「操作：あり」設定は無効です。

■電気錠設定2



注 WQC444W・WQC4440W使用時とも変更しないでください。
必ず「専用入力：なし（出荷時設定のまま）」で使用してください。
「専用入力：あり」では正常な動作をしません。

確定

確定後、（機能設定2）画面に戻る

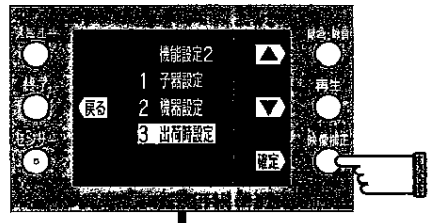
3 機能設定2　3 出荷時設定

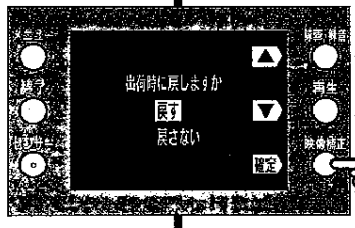
●設定内容を出荷時設定に戻します。（出荷時状態は1ページ参照）

注 ●録画・録音データもすべて消去されます。（保存画面、録音のみのデータも消去されます。）
●留守設定時の応答メッセージに自分で録音したメッセージは消去されませんが、設定は「メッセージ1」に戻ります。
●設定した呼出音量は変更されません。

操作方法

機能設定2





❶ 戻す／戻さないを選択

❷ 確定

戻　す

確定

注 機能設定1・2で設定した内容と録画・録音データがすべて消去されます。
電気錠操作器やセンサー対応カラーカメラ子器が接続されている場合は注意してください。

「消去中」「出荷時設定に戻しました」メッセージが表示され（機能設定2）画面に戻る

戻さない

（機能設定2）画面に戻る

親機の設定状態

●設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお使いください。

■書き込み設定シート（✓印を記入してください。）

<table>
<tr><td rowspan="5">機能設定1</td><td colspan="2">留守録
メッセージ</td><td colspan="6">☐ メッセージ1（固定メッセージ）
☐ メッセージ2（約8秒間）
「　　」</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動録画画面数</td><td colspan="6">☐ 3画面　☐ 1画面</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画画面数</td><td colspan="6">☐ 36画面　☐ 72画面</td></tr>
<tr><td rowspan="2">子器機能</td><td>自動録音</td><td rowspan="2">子器1</td><td>☐ あり　☐ なし</td><td rowspan="2">子器2</td><td>☐ あり　☐ なし</td><td rowspan="2">子器3</td><td>☐ あり　☐ なし</td></tr>
<tr><td>メッセージ音量</td><td>☐ 大　☐ 中
☐ 小　☑ なし</td><td>☐ 大　☐ 中
☐ 小　☐ なし</td><td>☐ 大　☐ 中
☐ 小　☐ なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機能設定2</td><td colspan="2">子器呼出</td><td>子器1</td><td>☐ あり　☐ なし</td><td>子器2</td><td>☐ あり　☐ なし</td><td>子器3</td><td>☐ あり　☐ なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">子器設定</td><td>子器1</td><td>☐ カメラあり
☐ カメラなし</td><td>子器2</td><td>☐ カメラあり
☐ カメラなし
☐ センサーあり
☐ センサーなし</td><td>子器3</td><td>☐ カメラあり
☐ カメラなし
☐ センサーあり
☐ センサーなし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コール設定</td><td>コール1</td><td colspan="6">☐ コール1　☐ トイレ　☐ フロ　☐ コール
☐ 寝室　☐ 部屋　☐ おじいちゃん　☐ おばあちゃん</td></tr>
<tr><td>コール2</td><td colspan="6">☐ コール2　☐ トイレ　☐ フロ　☐ コール
☐ 寝室　☐ 部屋　☐ おじいちゃん　☐ おばあちゃん</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張設定</td><td colspan="6">☐ 電話　☐ コールトーク</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電気錠設定1</td><td colspan="2">WQC444W</td><td colspan="5">☐ あり　☐ なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">WQC4440W</td><td colspan="5">☑ なし（必ず「操作：なし」で使用してください。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">電気錠設定2</td><td colspan="6">☑ なし　（必ず「専用入力：なし」で使用してください。）</td></tr>
</table>

松下電工株式会社　HA・防災システム事業部
本　社〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048　TEL (06) 6908-1131 (大代表)
津工場〔〒514-8555〕三重県津市大字藤方1668　TEL (059) 228-1211 (代　表)

8A2 908 00002

303-2

ご 注 意

●親機下面のカラー／白黒切替ボタンは、子器内蔵の赤外線照明を消灯・点灯することで、夜間の映像を補正するボタンです。画面が見えにくい場合、周囲の明るさによっては、カラー／白黒切替ボタンを押すと映像が見やすくなる場合があります。状況に応じてお使いください。

（映し出された映像は、淡いカラー映像または白黒映像になります。
周囲が暗いほど白黒映像に近くなります。）

注 カラー／白黒切替ボタンは夜間映像補正用ボタンであり、映像をカラー画面または白黒画面に切り替えるボタンではありません。

カラー／白黒切替ボタン